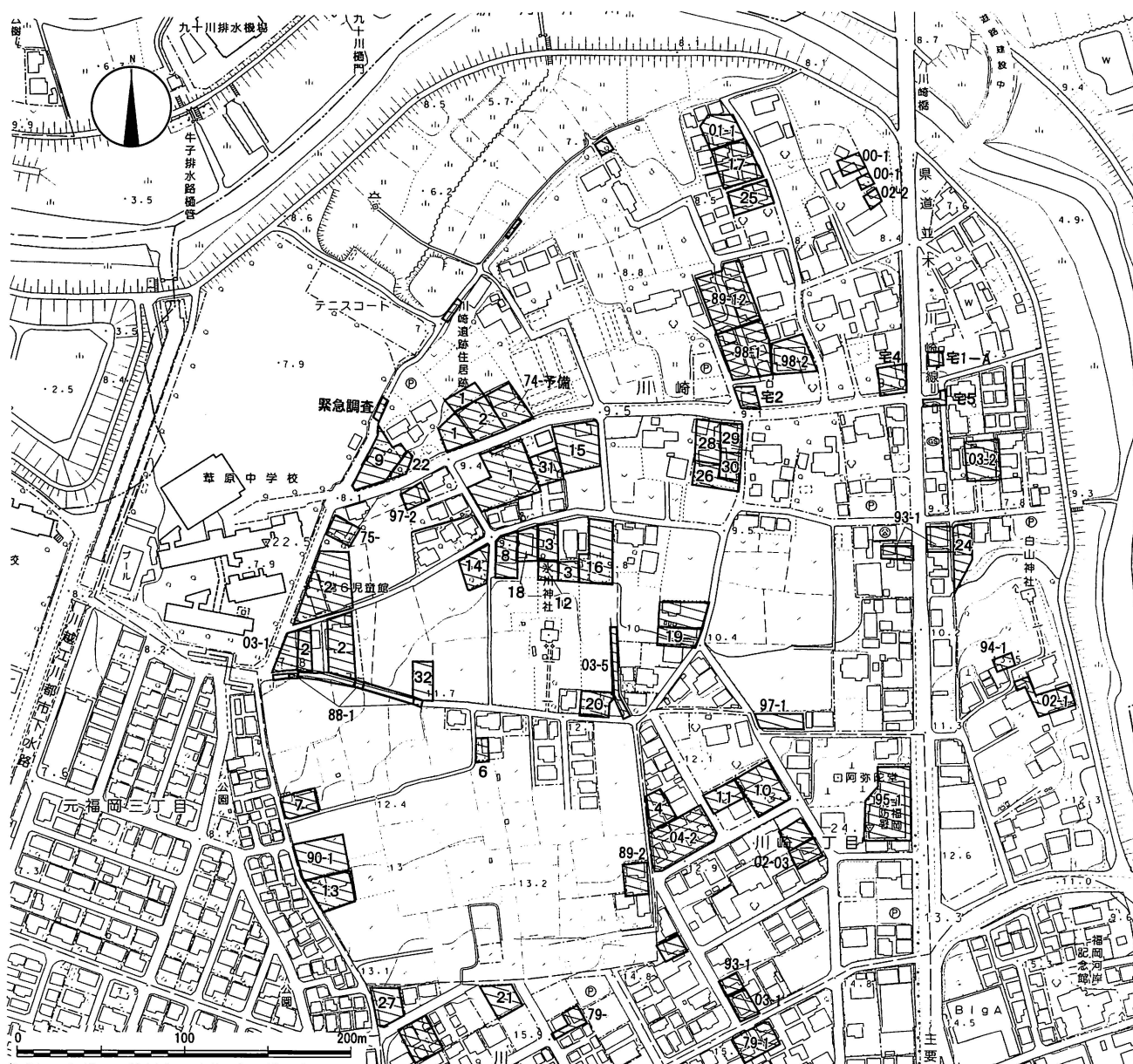


I 遺跡の立地と環境

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側基部に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917 年（大正 6 年）台地の先端部で貝層が確認され 1928 年（昭和 3 年）の調査では川崎貝塚として報告された。1967 年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980 年以来 36 ケ所で調査が行われ、21 ケ所で遺構が確認されている。主たる時代と遺構は縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。



第4図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第7表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎 160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上福岡市遺跡調査報告書
1次	川崎 162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後 168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上福岡市遺跡調査報告書
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添 122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上福岡市遺跡調査報告書
2次	川崎 137～174	1975.9.4～12.5	3,055	事前調査	縄文住居跡9、古墳住居跡6、奈良平安住居跡10、中世遺構他	川崎遺跡第2次調査概報
3次	川崎 149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2(7.8)、奈良平安住居跡6(1.2.4～6.9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎 198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
宅地添3次(C地区)	川崎 230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
4次	川崎 2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	埋蔵文化財の調査(Ⅱ) 埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
5次	川崎 1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
1979年度試掘(清見)	清見 4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
6次	川崎 102-5	1979.12.3～8	30	アパル 家屋	縄文前期住居跡2、縄文土器片、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
7次	川崎 124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構無し、平安土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添 219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1、平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)
9次	川崎字宮後口 172-1.2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋蔵文化財の調査(Ⅷ)
10次	川崎 224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅹ)
11次	川崎 2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1988年度試掘	市道 402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1989年度試掘(Ⅰ)	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10～18)	1,045	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
1989年度試掘(Ⅱ)	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
12次	川崎字宮前 149-4.5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
13次	大字川崎字宮前 122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
1990年度試掘(Ⅰ)	大字川崎字宮前 122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認調査	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
14次	大字川崎字宮前 145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1、貝塚、平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
15次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安住居跡7、土坑1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1992年度試掘(Ⅰ)	大字川崎字山向 9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1993年度試掘(Ⅰ)	川崎 2-2-10.11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1993年度試掘(Ⅱ)	川崎 1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1994年度試掘(Ⅰ)	川崎字台 258 他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1995年度試掘(Ⅰ)	川崎 2-7-2.3	(1995.10.13～16)	1,126	消防署	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
16次	川崎字宮脇 150-2.3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4・掘立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	7年度教育要覧
17次	川崎字宅地添 204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
18次	川崎字宮脇 148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1997年度試掘(Ⅰ)	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1997年度試掘(Ⅱ)	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1997年度試掘(Ⅲ)	川崎字宅地添 199-1.2.5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	遺構・遺物無し	9年度教育要覧
1998年度試掘(Ⅰ)	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1ほか	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
市道 402号線 2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年度教育要覧
2000年度試掘(Ⅰ)	川崎大字宅地添 209の一部	(2000.6.19～22)	123	個人住宅	貝塚の一部	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
範囲確認調査	川崎字宅地添 209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
19次	川崎字宮脇 157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2001年度試掘(Ⅰ)	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29.30)	825	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2002年度試掘(Ⅰ)	川崎 249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2002年度試掘(Ⅱ)	川崎 210-1.2の一部	(2002.10.28.29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2002年度試掘(Ⅲ)	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2002年度試掘(Ⅳ)	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2002年度試掘(Ⅴ)	川崎字宮脇 155 先	(2003.3.26)	164	道路築造	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2003年度試掘(Ⅰ)	川崎 137-1の一部	(2003.8.6.7)	257	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2003年度試掘(Ⅱ)	川崎字宅地添 226-1.4	(2003.12.8.19)	381	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
宅地添地区 5次	川崎字宅地添 222-3 先	2004.2.16～18	88		古墳初頭竪穴住居跡1【調査実施】	15年度教育要覧
2004年度試掘(Ⅰ)	川崎字宮脇 157-1の一部	(2004.6.14.15)	421	個人住宅	平安時代竪穴住居のカマドの一部	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2004年度試掘(Ⅱ)	川崎 2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
20次	川崎字宮脇 153-5	2005.11.28～12.2(11.22～27)	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内遺跡群1
21	川崎 1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内遺跡群3
22	川崎 171-1.174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内遺跡群4
23	川崎字宮前 102-4.6	(2007.6.4)	240	個人住宅	工事着工済みのため工事立会い	市内遺跡群4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群4
25	川崎字宅地添 203 番1の一部、203 番3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内遺跡群6
26	川崎字宅地添 230 番5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内遺跡群6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15～5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内遺跡群6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4～7.9) 2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、土坑、ピット	市内遺跡群6
29	川崎字宅地添 230 番1	(2008.7.9～7.11) 2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、溝3	市内遺跡群6
30	川崎字宅地添 230 番6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内遺跡群6
31	川崎字宮後 161 番5の一部、161 番地6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期住居跡2、奈良・平安時代竪穴住居跡2、ピット12	未報告
32	川崎字宮脇 140の一部	(2011.2.24～25) 2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡3、土坑2、建物部分本調査	未報告

第8表 川崎遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形() は推定	規模	炉 カマド K	設置壁	カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1974	第1次 LN72	完掘	隅丸方形	760 × 730 × 40	炉	地床炉	60 × 50	○	N-60-E	3C 終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概報
2	1974	第1次 LN05	完掘	方形	390 × 320 ×	K			○	N-5-E	国分		"
3	1974	第1次 LN06	完掘	歪んだ方形	320 × 320 ×	K	東			N-13-W	9C 4 半期		"
4	1974	第1次 LN07	完掘	方形	320 × 320 ×	K	東	80 × 90	○	N-83-W	9C 中葉		"
5	1974	第1次 LN24	完掘	長方形	470 × 340 × 50	K	北	120 × 75	○	N-5-E	10C 1 半期		"
6	1974	第1次 LN25	完掘	方形	320 × 300 ×	K	北	40 × 40		N-42-E	9C 1 半期		"
7	1974	第1次 LN28	西側未掘	(長方形)	× 300	K	東	50 × 60	○	N-69-W	9C 3 半期		"
8	1974	第1次 LN71	東側7割未掘	(方形)	× 600								"
9	1975	第2次 LN75	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次概報
10	1975	第2次 LN92	部分	(長方形)							10C 1 半期		"
11	1975	第2次 LN72	完掘	隅丸方形	250 × 250 × 13	K	南	50 × 80		N-18-E	国分		"
12	1975	第2次 LN07	完掘	方形	720 × 720	K	北		○	N-32-E	6C 後半	ビット多数 土鍾	"
13	1975	第2次 LN04	完掘	方形	390 × 350	K	東	60 × 70	○	N-64-E	6C 前半	貯蔵穴有り	"
14	1975	第2次 LN05	完掘	長方形	450 × 370	K	北	100 × 80	○	N-1-E	10C 2 半期		"
15	1975	第2次 LN19	14 住に埋れる			K	東				9C 4 半期	支脚が立脚	"
16	1975	第2次 LN14	完掘	長方形	370 × 260	K	北	90 × 80	○	N-4-E	9C 3 半期		"
17	1975	第2次 LN12	南側未掘	長方形	700 ×						6C	紡錘車	"
18	1975	第2次 LN33	17 住と大きく重複し全体不明										
19	1975	第2次 LN06	完掘	隅丸方形	410 × 420	K	北東		○	N-45-E	6C 後半	良好	"
20	1975	第2次 LN22	完掘	長方形	410 × 330	K	北	120 × 120	○	N-29-W			"
21	1975	第2次 LN53	完掘	長方形	350 × 280	K	東	70 × 60	○	N-87-E	10C 2 半期	22 住を切る	"
22	1975	第2次 LN54	部分	方形	330 × 320	炉	地床炉				五領		"
23	1975	第2次 LN20	3/5	(長方形)	× 350	K	北		○	N-23-E	9C 2 半期	鍛冶工房跡	"
24	1975	第2次 LN21	ほぼ完掘	正方形	580	K	北西	50 × 70	○	N-43-W	鬼高		"
25	1977	第3次 1 号住居	南東隅のみ	(長方形)		K	東	途中で廃絶	○				川崎遺跡第3次
26	1977	第3次 2 号住居	完掘	長方形	350 × 330	K	北	× 70	○		国分	鉄製品多い	"
27	1977	第3次 4 号住居	(完掘)	長方形	350 × 400	K	東	170 × 110	○		国分		"、埋文調査 19
28	1977	第3次 5 号住居	(完掘)	長方形	350 × 320	K	東	120 × 90	○		国分		"、埋文調査 19
29	1977	第3次 6 号住居	4/5	正方形	440 ×	K	北	155 × 90	○		9C 4 半期	焼失家屋	"
30	1977	第3次 9 号住居	1/2	(方形)	415 ×				○		国分		"
31	1979	第6次 1 B 住居			340 ×				○		9C 2 半期		埋蔵文化財の調査Ⅱ
32	1979	第6次 2 号住居	1/3		340 ×	K	北→東	140 × 80	○		9C 1 半期	鉄製品多い	"
33	1984	宅地跡第 4 次 3 住	完掘	正方形	340 × 340	K	東	120 × 100	○		8C 3 半期		埋蔵文化財の調査Ⅶ
34	1990	第13次 1 号住居	1/2 ~ 1/3		390 ×	K			○		7C 後半		埋蔵文化財の調査 13
35	1990	第14次 2 号住居	南 1/2		340 ×	K	東		○		9C 1 半期		"
36	1991	第15次 1 号住居			395 × 285	K	北東				9C ~ 10C		埋蔵文化財の調査 14
37	1991	第15次 2 号住居		正方形	380 × 380	K	東				9C 中葉		"
38	1991	第15次 3 号住居	完掘	長方形	265 × 430	K	南東		○		9C 初頭		"
39	1991	第15次 4 号住居	1/2	正方形	580 ×	K	東		○		8C 末 ~ 9C 初頭		"
40	1991	第15次 5 号住居	3/4		280 ×	K	北		○		9C 前半 ~ 中		"
41	1991	第15次 6 号住居		正方形	425 × 270	K	北		○		8C 後半	3536 住と重複	"
42	1991	第15次 7 号住居	1/2	正方形	570 ×	K	北		○		9C 前半	緑釉陶器、 焼失家屋	"
43	1994	第16次 1 号住居	1/2		450 ×				○		9C 前半 ~ 後半		未報告
44	1994	第16次 2 号住居	北西隅のみ								9C 前半 ~ 後半		"
45	1994	第16次 5 号住居	2/3		440 ×	K	東		○		9C 前半 ~ 後半		"
46	1994	第16次 6 号住居	カマドのみ			K	東						"
	1994	第16次 1 号掘立	2/3	長方形									"
	1994	第16次 2 号掘立	西側柱のみ	長方形	南北 2 間						9C 前半 ~ 後半	42 住と隣接	"
	1994	第16次 3 号掘立	完掘	長方形	南北 3 間 東西 2 間						"	"	"
	1994	第16次 4 号掘立	完掘	長方形	南北 3 間 東西 2 間						"	"	"
	1994	第16次 5 号掘立	1/2	長方形	南北 2 間						"	"	"
	1994	第16次 6 号掘立	完掘		南北 3 間 東西 2 間						"	"	"
47	1996	第17次 1 号住居	完掘	長方形	400 × 400	K	東		○	国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査 19	
48	1996	第18次 2 号住居	完掘	長方形	300 × 300	K	東		○	国分		埋蔵文化財の調査 19	
49	2001	第19次 1 号住居	1/2		360 ×	K					9C 前半		埋蔵文化財の調査 24
50	2005	第20次 1 号住居	完掘	長方形	320 × 350	K	北西		○	N-45-W	7C 前半 ~ 中		市内遺跡群 1
51	2006	第21次 1 号住居	完掘	方形	410 × 365 × 10	K	東	145 × 125	○	N-106-E	9C 後半		市内遺跡群 3
	2008	第25 地点 1 号掘立		長方形	南北 2 間 東西 2 間								市内遺跡群 6
52	2008	第26 地点 H28 号住居	完掘	方形	349 × 316 × 33	K	北	95 × 83	○	N-16-E	9C 後半		"
53	2008	第26 地点 H29 号住居	北側のみ	(方形)	431 × 205 × 24	K	北	70 ×	○	N-16-E	9C 後半		"
54	2008	第26 地点 H30 号住居	完掘	長方形	424 × 296 × 20	K	北	98 × 71	○	N-4-E	8C 後半		"
55	2008	第28 地点 H31a 号住居	北側のみ	(方形)	(390) × (233) × 15	K	北	88 × 84		N-19-E	8C 中 ~ 後半		"
56	2008	第28 地点 H31b 号住居	北側のみ	(方形)	(404) × 325 × 2				○	N-18-E			"
57	2008	第28 地点 H32 号住居	完掘	長方形	357 × 295 × 24	K	東	108 × 80	○	N-105-E	8C 中 ~ 後半		"
58	2008	第29 地点 H33 号住居	北東のみ	(方形)	(214) × (205) × 16	K	東	(65) × (65)	○	N-98-E	8C 後半 ~ 9C 初頭		"
59	2008	第29 地点 H34 号住居	完掘	方形	(378) × 372 × 12	K	北	71 × 90	○	N-16-E	9C 後半	墨書土器	"
60	2008	第30 地点 H35 号住居	完掘	長方形	294 × 232 × 26	K	東	141 × 88	○	N-104-E	9C 前半		"
61	2008	第30 地点 H37 号住居	完掘	方形	415 × 414 × 21	K	北	88 × 140	○	N-16-E	9C 後半	灰釉陶器	"
62	2008	第30 地点 H38 号住居	1/2	(方形)	375 × (105) × 17				○	N-5-E	9C 後半	墨書土器	"



第5図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

Ⅱ 川崎遺跡第 25 地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 3 月 12 日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」（以下「埋蔵文化財事前協議書」）がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い台地上に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 4 月 14 日に幅約 2 m のトレンチを 2 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40～50 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は 2008 年 4 月 15 日から同年 4 月 17 日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を人力で表土除去後調査を行なった。調査の結果、平安時代の掘立柱建物跡、溝跡 1 条、近世の地下室を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①掘立柱建物跡

【位置】調査区の北東側に位置する。遺跡全体の分布では北側に位置する。

【形状】2 間×2 間の長方形で、主軸方位は N－11°－E である。P1（土坑 1）から P8（土坑 8）の 7 基で構成されるが、土坑 5 も土坑 4 と対称の中心軸上にあり、その場合は 2 間×3 間となる。規模は柱穴中心間の距離で桁行 4.3 m、梁行 3.2m を測る。各柱穴は隅丸方形、覆土はローム粒を多量に含む暗褐色土で、特に P 1, 2, 3 は柱痕と版築された層が認められ、柱穴の中心部も一段低くなる。

P3 の柱痕から灰釉陶器皿が出土した。

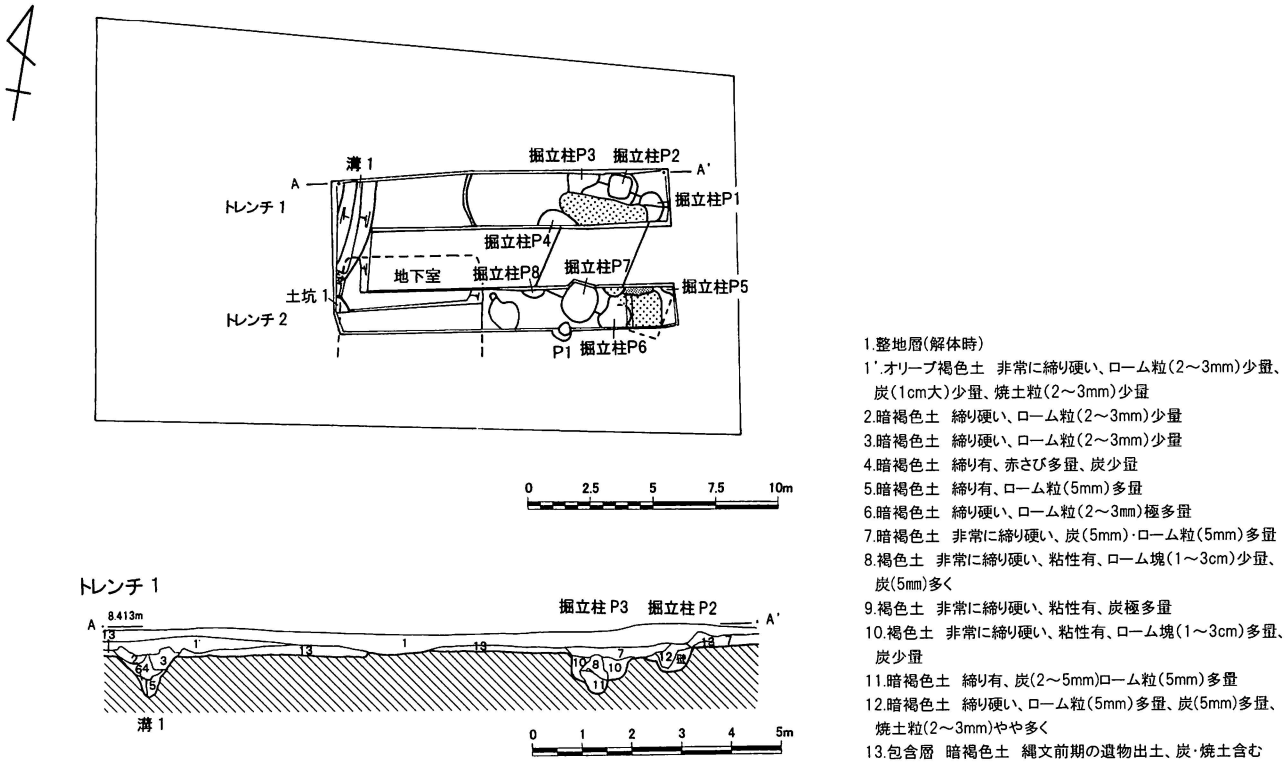
出土遺物から時期は平安時代。

②溝

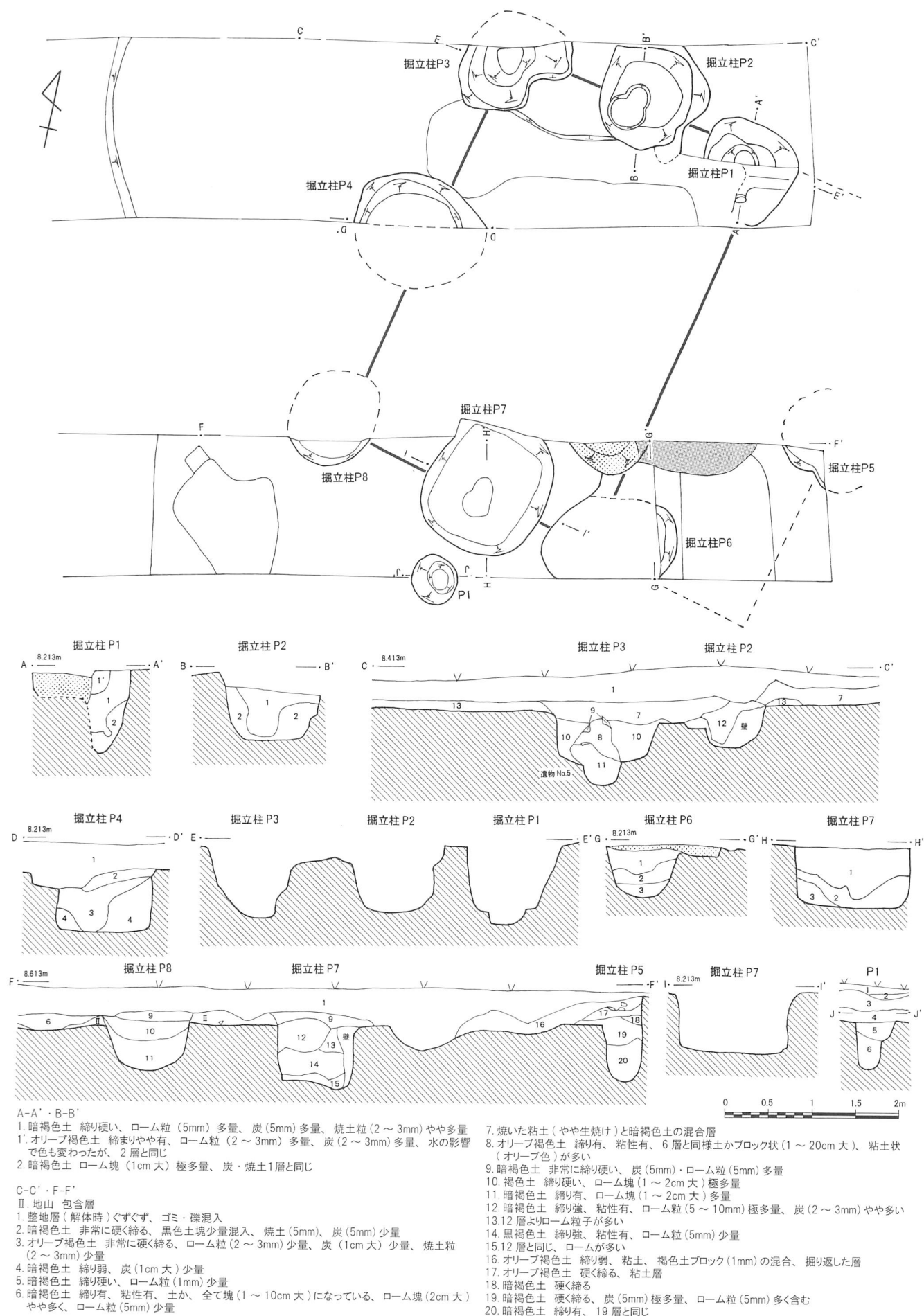
調査区西側に南北方向の溝を検出した。断面形態は「V」字形を呈する。検出した溝の長さは 4 m、上端幅は 1.28m、下端幅は 0.2～0.45 m、確認面からの深さ 0.9 m である。磁器碗、瓦、火鉢破片が出土した。出土遺物から、時期は近世。

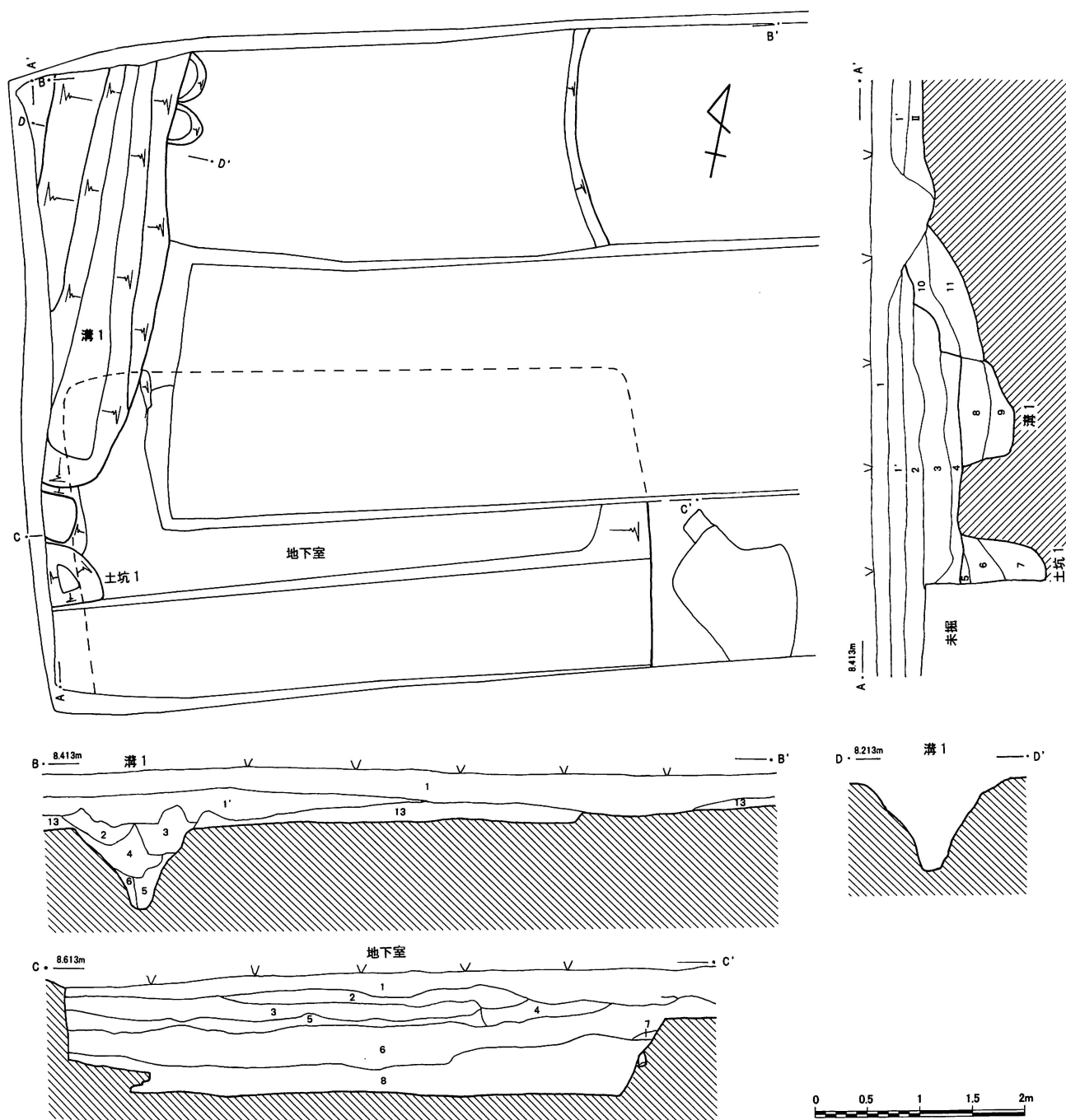
③地下室

調査区南西に地下室状の遺構を検出した。



第 6 図 川崎遺跡第 25 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)





掘立柱ピット4 D-D'

1. 整地層 (解体時) ぐずぐず
2. オリーブ褐色土 締り強、粘性有、炭 (10mm 大) 少量、粘土含む
3. オリーブ褐色土 非常に締り硬い、粘性有、ローム塊 (10 ~ 30mm) 多量、炭少量
4. 暗褐色土 締り有、ローム粒 (5mm) 多量

掘立柱ピット6 G-G'・掘立柱ピット7 H-H'

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒 (5 ~ 10mm) 極多量、炭 (2 ~ 3mm) やや多い
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒 (5mm) 少量
3. 1層と同じ、ロームが多い

ピット1 J-J'

1. 整地層 暗褐色土 硬い、粘土、砂利混じり
2. 白黄色粘土 締り硬い、粘性有、整地
3. 整地層 オリーブ褐色土 締り強、粘性有、粘土混入、ローム・炭多量
4. 整地層 暗褐色土 締り有、ローム粒 (5mm)・炭 (5mm) 多量
5. オリーブ褐色土 締り硬い、ローム塊 (10mm 大) 多量、粘土混入
6. 暗褐色土 締り弱、もろい、ローム塊 (10mm 大) 多量

土坑1・溝1 A-A'

II. 地山 包含層

1. 整地層 (解体時)
- 1'. オリーブ褐色土 非常に硬く締る、ローム粒 (2 ~ 3mm) 少量、炭 (10mm 大) 少量、焼土粒 (2 ~ 3mm) 少量
2. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒 (1mm) 少量
3. 暗褐色土 締り有、粘性有、土か全て塊 (10 ~ 100mm 大) になっている、ローム塊 (20mm 大) やや多く、ローム粒 (5mm) 少量
4. オリーブ褐色土 締り有、粘性有、6層と同様土かブロック状 (10 ~ 200mm 大)、粘土状 (オリーブ色) が多い
5. オリーブ褐色土 締り硬い、ローム粒 (2 ~ 3mm) 少量、水溶性の赤錆が入る
6. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒 (5mm)・赤錆多量、炭 (5mm) やや多量
7. 暗褐色土 締り有、6層と同じ、ローム塊少量
8. 暗褐色土 締り有、赤錆多量、炭少量
9. 暗褐色土 締り有、ローム粒 (5mm) 多量
10. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒 (2 ~ 3mm) 少量
11. 暗褐色土 締り硬い、ローム粒 (2 ~ 3mm) 極多量

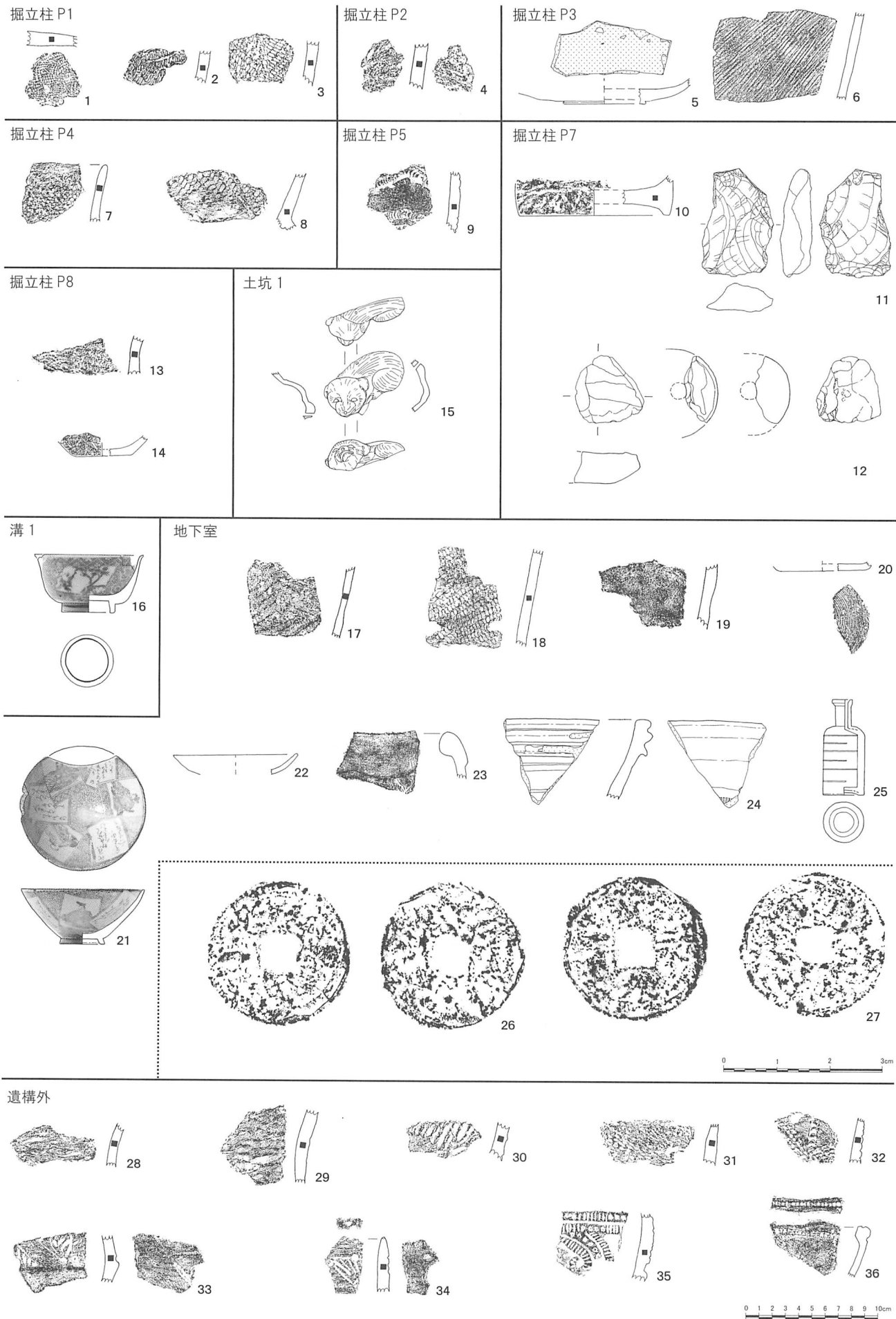
第8図 川崎遺跡第25地点溝・地下室 (1/60)

第 9 表 川崎遺跡第 25 地点遺構一覧表 (単位 cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考	No	平面形態	確認面		深さ	備考
掘立柱 P1	隅丸方形下段円形	108 × 105 36 × (18)	70 × 70 23 × 15	74 90	旧土坑 1	掘立柱 P8	(楕円形)	(47) × (45)	(68) × (19)	57	旧土坑 8
掘立柱 P2	隅丸方形下段瓢箪	115 × 101 55 × 45	74 × 73 50 × 38	76 79	旧土坑 2	粘土範囲	(楕円形)	(135) × (40)			
掘立柱 P3	矩形 下段(楕円)	(125) × 70 56 × (44)	116 × (68) 32 × 30	55 82	旧土坑 3、 緑釉皿出土	溝 1	4 m 以上の直線。断面「V」字形	115 ~ 128	15 ~ 45	91	磁器碗、瓦、火鉢出土。地下室より旧
掘立柱 P4	(楕円形)	(145) × (60)	(102) × (37)	70	旧土坑 4	土坑 1	(楕円形)	(47) × (45)	(30) × (18)	119	旧土坑 9、陶磁器出土。地下室より旧
掘立柱 P5		(42) × (42)	(40) × (35)	67	旧土坑 5	地下室		560 × (300)		65	土坑 1、溝 1 より新
掘立柱 P6	(楕円形)	153 × (82)	× (52)	51	旧土坑 6	P1	円形	52 × 52	28 × 18	54	
掘立柱 P7	隅丸方形硬化面瓢箪	145 × 134 45 × 34	122 × 108	76	旧土坑 7						

第 10 表 川崎遺跡第 25 地点出土遺物観察表 (単位 cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
9 図	1	1 号掘立 P1	縄文土器 / 鉢	—	—	—	貝殻背圧痕 / 繊維含む / 注 No 1D-1		縄文前期前半・羽状縄文系	底部破片
	2	1 号掘立 P1	縄文土器 / 鉢	—	—	—	上帯 L、下帯 R の無節羽状縄文 / 胎土に繊維含む / 注 No 1D-1		縄文前期・黒浜	胴部破片
	3	1 号掘立 P1	縄文土器 / 鉢	—	—	—	上帯 LR、下帯 RL の結束した羽状縄文 / 胎土に繊維含む / 注 No 1D-1		縄文前期・黒浜	胴部破片
	4	1 号掘立 P2	縄文土器 / 鉢	—	—	—	胎土に繊維含む / 注 No 2D		縄文前期・黒浜	胴部破片
	5	1 号掘立 P3	灰釉陶器 / 皿	—	(6.2)	—	轆轤成形 / 内面灰釉、見込みにトチン跡 / 灰黄褐色 / 注 No 3D-2		9C 第 2 四	底部 / k-14 様式
	6	1 号掘立 P3	須恵器 / 甕	—	—	—	外面叩き目 / 灰色 / 海面骨針含む / 注 No 3D-1	南比企	奈良・平安	胴部破片
	7	1 号掘立 P4	縄文土器 / 鉢	—	—	—	RL 縄文を縦位に施文 / 胎土に繊維含む / 注 No 4D		縄文前期・黒浜	口縁部破片
	8	1 号掘立 P4	縄文土器 / 鉢	—	—	—	RL 縄文を横位に施文 / 胎土に繊維含む / 注 No 4D		縄文前期・黒浜	頸部破片
	9	1 号掘立 P5	縄文土器 / 鉢	—	—	—	連続爪形文を左から右に施文する / 胎土に繊維含む / 注 No 5D		縄文前期・黒浜 (有尾系)	胴部破片
	10	1 号掘立 P7	縄文土器 / 鉢	—	(11.3)	—	上げ底 / 羽状縄文 / 胎土に繊維含む / 注 No 7D-1		縄文前期・黒浜	底部
	11	1 号掘立 P7	石器 / 打製石斧	8.15	5.38	2.40	重量 108.6g / 注 No 7D-1	ホルンフェルス	縄文時代	完形
	12	1 号掘立 P7	土製品 / 羽口	—	—	—	先端部は融解する。鍛冶炉用羽口 / 注 No 7D-1		奈良・平安	先端部破片
	13	1 号掘立 P8	縄文土器 / 鉢	—	—	—	無節の R 縄文を横位に施文 / 胎土に繊維含む / 注 No 8D		縄文前期・黒浜	頸部破片
	14	1 号掘立 P8	土師器 / 甕	—	(4.2)	—	胴部及び底部へラ削り / 赤褐色 / 角閃石含む / 注 No 8D		奈良・平安	底部
	15	土坑 1	磁器 / 犬型水滴	—	—	—	型合せ成形、背中と鼻に焼成前穿孔 / 口と耳に赤色の後彩色 / 注 No 9D		19C ~	約 1/2
	16	溝 1	磁器 / 茶碗	8.4	4.0	4.3	轆轤成形 / 銅版絵付け。松竹梅の扇絵 / 注 No 1M	瀬戸・美濃	1890 年代 ~	口縁一部欠
	17	地下室 1	縄文土器 / 鉢	—	—	—	羽状縄文 / 胎土に繊維含む / 注 No 地下室		縄文前期・黒浜	胴部破片 / 外面摩滅
	18	地下室 1	縄文土器 / 鉢	—	—	—	L R 縄文を横位に施文 / 胎土に繊維含む / 注 No 地下室		縄文前期・黒浜	胴部破片
	19	地下室 1	縄文土器 / 鉢	—	—	—	無文 / 注 No 地下室		縄文前期	胴部破片
	20	地下室 1	須恵器 / 坏	—	(7.4)	—	轆轤成形。底部回転糸切後 / 灰黄褐色 / 砂粒 (~ 1 mm) 少量、海面骨針含む / 注 No 地下室	南比企	奈良・平安	底部
	21	地下室 1	磁器 / 茶碗	9.5	3.4	4.2	轆轤成形 / 銅版絵付け。百人一首 / 注 No 地下室	瀬戸・美濃	1890 年代 ~	口縁一部欠
	22	地下室 1	磁器 / 皿	(9.5)	—	—	轆轤成形 / 注 No 地下室		近世 ~	口縁部破片
	23	地下室 1	瓦質土器 / 火鉢	—	—	—	轆轤成形 / 注 No 地下室		近世 ~	口縁部破片
	24	地下室 1	焼締陶器 / 擂鉢	—	—	—	轆轤成形 / 注 No 地下室		19C ~	口縁部破片
	25	地下室 1	ガラス製品 / 医療用薬瓶	1.5	3.1	7.3	型吹き成形 (割型) / コルク栓用 / 無色・透明、気泡有 / 側面に目盛り線の陽刻 / 注 No 地下室		1900 ~ 1910 年代	完形
	26	地下室 1	銭貨 /	外径 2.21	孔径 0.64	0.15	重量 2.67g / 注 No 地下室		中・近世	完形
	27	地下室 1	銭貨・銅貨	外径 2.23	孔径 0.74	0.17	重量 2.93g 鋳造 / 「文久永寶」、四文銭 / 注 No 地下室		1863 ~ 1865	完形
	28	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 鉢	—	—	—	胎土に繊維含む / 注 No 1 トレ-1		縄文前期・黒浜	頸部破片 / 外面摩滅
	29	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 鉢	—	—	—	縄文 / 胎土に繊維含む / 注 No 1 トレ-1		縄文前期・黒浜	胴部破片 / 外面摩滅
	30	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 鉢	—	—	—	無節 L 縄文を横位に施文 / 胎土に繊維含む / 注 No 1 トレ-1		縄文前期・黒浜	胴部破片
	31	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 鉢	—	—	—	LR 縄文を横位に施文 / 胎土に繊維含む / 注 No 1 トレ-1		縄文前期・黒浜	胴部破片
	32	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 鉢	—	—	—	半載竹管による連続押引き文を施文 / 胎土に繊維含む / 注 No 1 トレ-1		縄文前期・黒浜 (有尾系)	胴部破片
	33	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 鉢	—	—	—	細線による幾何学区画と太線を充填。竹管により交互に円形刺突文 / 内面は条痕を磨消す / 胎土に繊維含む / 注 No 1 トレ-1		縄文早期・鶴岡島台	胴部破片
	34	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 鉢	—	—	—	沈線による幾何学区画と竹管による円形刺突文 / 胎土に繊維含む / 注 No 1 トレ-1		縄文早期・鶴岡島台	口縁部破片
	35	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 鉢	—	—	—	扁平な隆帯上に篋状工具の刻みと竹管による円形刺突文 / 胎土に繊維含む / 注 No 1 トレ-2		縄文時代	胴部破片
	36	トレンチ 1 遺構外	縄文土器 / 浅鉢	—	—	—	口唇部と口縁部に一列の角押文を施文 / 白色粒子、砂粒多量含む / 注 No 1 トレ-2		縄文中期・勝坂 2 (藤内)	口縁部破片



第9図 川崎遺跡第25地点出土遺物 (1/1・1/4)

川崎遺跡第 25 地点



川崎遺跡第 25 地点全景



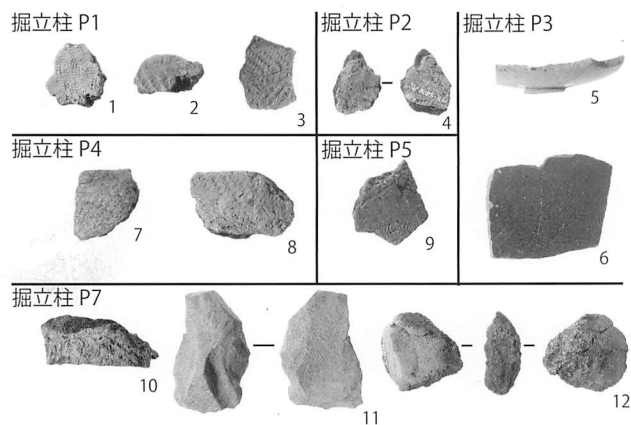
川崎遺跡第 25 地点溝 1



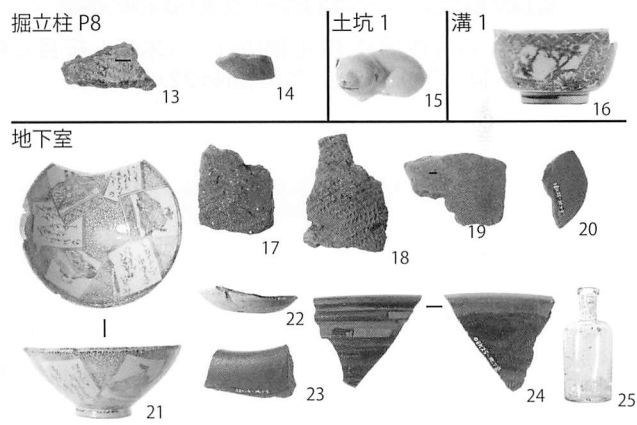
川崎遺跡第 25 地点掘立柱建物跡



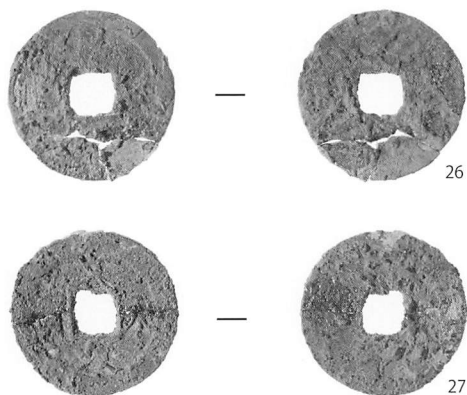
川崎遺跡第 25 地点掘立柱建物跡



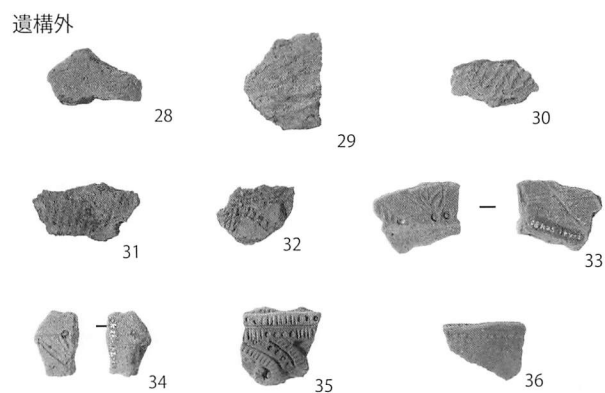
川崎遺跡第 25 地点掘立柱 P1 ~ 5・7 出土遺物 No.1 ~ 12



川崎遺跡第 25 地点出土遺物 No.13 ~ 25



川崎遺跡第 25 地点地下室出土遺物 No.26・27



川崎遺跡第 25 地点出土遺物 No.28 ~ 36

報告書抄録

書 名	市内遺跡群 6	シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 7 集			
編 集 者	高崎直成	著 者	高崎直成			
編集機関	ふじみ野市教育委員会	所在地	〒 356-8555 ふじみ野市大井中央一丁目 1 番 1 号 TEL 049 (261) 2811			
発 行 日	2011 年(平成 23 年)11 月 30 日					
所収遺跡地点名	所 在 地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
		遺跡コード	東経	調査終了	m	調査担当者
	種別 / 主な時代・主な遺構・主な遺物					
特記事項						
川崎遺跡第 25 地点	川崎 203-1、203-3 の一部	112453	35° 53' 22"	20080414	55	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 13"	20080417		高崎直成
	集落跡 / 平安時代・掘立柱建物跡 1 棟、近世・溝 1 条、地下室 1 基・縄文土器、灰釉陶器、土師器、須恵器、近世陶磁器					
	古代集落の北端で掘立柱建物跡を検出					
川崎遺跡第 26 地点	川崎 230-5	112453	35° 53' 17"	20080421	228	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 12"	20080517		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 4 軒、土坑 6 基、ピット 20 基、近代以降の井戸 1 基・石器、土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 27 地点	川崎 1-7-1	112453	35° 53' 06"	20080515	112	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 05"	20080521		坪田幹男・高崎直成
	集落跡 / 時期不明の溝 1 条、土坑 1 基					
	東西に続く溝の一部を検出					
川崎遺跡第 28 地点	川崎 230-7	112453	35° 53' 17"	20080704	160	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 13"	20080808		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、土坑 2 基・土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 29 地点	川崎 230-1	112453	35° 53' 18"	20080709	108	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 13"	20080822		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、溝 3 条・土師器、須恵器、石製品、銭貨、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 30 地点	川崎 230-6	112453	35° 53' 17"	20080717	200	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 13"	20080905		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 4 軒、井戸 3 基、土坑 4 基、溝 5 条・縄文石器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品、銭貨、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出。墨書土器検出					
ハケ遺跡 C 区第 8 地点	福岡 3-2069-9	112453	35° 53' 06"	20090317	11	個人住宅建設
		25-005	139° 31' 21"	20090317		高崎直成
	集落跡 / 縄文時代住居跡確認・縄文土器					
権現山遺跡第 23 地点	滝 1-6-7	112453	35° 52' 49"	20081023	12	古墳整備
		25-009	139° 31' 40"	20081029		坪田幹男・市丸靖子
	集落跡 / 時期不明土坑 3 基、集石 1 基					
亀居遺跡第 63 地点	亀久保 2-13-5	112453	35° 51' 51"	20080917	312	モデルルーム
		30-030	139° 30' 28"	20081015		高崎直成
	集落跡 / 縄文時代竪穴住居跡 1 軒、土坑 3 基、ピット 29 基、近世以降の溝 1 条・縄文土器					
松山遺跡第 45 地点	築地 3-4-7 の一部外 6 筆	112453	35° 52' 20"	20080904	390	道路築造
		25-010	139° 31' 51"	20081023		越村篤・高崎直成
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、掘立柱建物跡 2 棟、時期不明の溝 10 条、溝状遺構 3 基、ピット 4 基・土師器、須恵器					
	建材と思われる「クリ」と「イネ科」の炭化材が出土した焼失住居跡を検出					